

肥満と肝臓病, その予防と治療

正田 純一 先生

筑波大学医学医療系 医療科学 教授

筑波大学附属病院 消化器内科

平成25年6月18日 (火)

18:30~20:30

筑波大学総合研究棟D 公開講義室(1F)

食生活習慣の欧米化と慢性的な運動不足に伴い、国民の肥満傾向は加速している。肥満は過剰なエネルギー源が脂肪として蓄えられた状態である。脂肪は蓄積部位にかかわらず、過剰に蓄積が生じると組織の構造や機能に異常をきたし、器官障害を引き起こす(異所性脂肪蓄積症)。最近、肥満による肝機能異常を有する成人の頻度が急増しているが、これには非アルコール性脂肪性肝疾患(non-alcoholic fatty liver disease: NAFLD)と称される脂肪肝を伴う慢性肝障害の増加が大きく関わっている。

わが国では肥満者の約3割は非アルコール性脂肪性肝疾患(non-alcoholic fatty liver disease: NAFLD)と称される脂肪肝を伴う慢性肝障害に罹患している。NAFLDの発症とその進展の予防には、食事・運動療法以外にコンセンサスが得られた治療法は未だない。適度な運動により、筋肉でのグルコースの利用率を増加させ、インスリン抵抗性を改善することより重要である。

本講演では、肥満における異所性脂肪蓄積症としてのNAFLDの発症機序、運動が果たすNAFLDの肝病態改善の効果、本学附属病院「肝臓生活習慣病外来」におけるNAFLDの生活習慣病者の支援などについて概説する。

今回の勉強会では、筑波大学人間科学総合研究科の正田純一先生に「肥満と肝臓病, その予防と治療」の演題で、お話していただく予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、講演場所は筑波大学総合研究棟Dとなっております。防犯の関係上19:00以降正面入口がロックされ入館できなくなります。19:00以降はスタッフができるだけ対応をいたしますが、19:00までにお越し下さるようお願いいたします。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部の後援を受けています。またフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4(高齢者医学)となっております。

柳 久 子
TEL&FAX : 029-853-3496